



令和3年度 現地検討会実施状況

(森林整備における低コスト化の推進)

10

国有林	95
都道府県	16
市町村	17
森林組合	17
林業事業体（森林組合を除く）	18
研究機関	3
その他	8
合計	174



検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真
乗車型自走式刈払機実演会	7月28日	上川南部森林管理署	占冠村 (トマム国有林252林班)	国有林 14名	下刈作業の機械化、省力化	<ul style="list-style-type: none"> ●車体幅1.8mの刈払機で井形に下刈実行 ●苗間列間2.58mのトドマツ方形植え（伐根あり）箇所にて下刈と伐根処理を並行して実施 ●苗間列間3.16mのトドマツ方形植え（伐根なし）箇所にて下刈を実施 	
				都道府県 3名			
				市町村 2名			
				森林組合 3名			
				林業事業体（森林組合を除く） 2名			
				研究機関 2名			
				その他 名			
				合計 26名			
3Dレーザースキャナ勉強会	8月23日	上川南部森林管理署	占冠村 (村有林16林班88小班)	国有林 5名	今年度より北海道局で試験的に導入している3Dレーザースキャナ(「OWL」と「3D Walker」の2機種)を紹介。 村有林をフィールドに、実際に計測する様子を見てもらう。	<ul style="list-style-type: none"> ●村有林の地況林況を役場担当者より説明。 ●署職員が2機種を用いて計測を実施し、その手法を説明した。 ●解散後、森林事務所PCでデータ解析し、解析結果を役場担当者へ送付。 ●質問に対してメールで回答。 	
				都道府県 名			
				市町村 2名			
				森林組合 名			
				林業事業体（森林組合を除く） 名			
				研究機関 名			
				その他 名			
				合計 7名			

レンタル会社の担当者から作業可能な傾斜等を説明

3Dレーザースキャナ「3D Walker」で村有林を計測




令和3年度 現地検討会実施状況

(森林整備における低コスト化の推進)

<p>コンテナ苗植栽等勉強会</p>	<p>9月10日</p>	<p>占冠村・上川南部森林管理署 共催</p>	<p>占冠村 (村有林1林班9小班)</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>5名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>2名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>1名</td></tr> <tr><td>林業事業体(森林組合を除く)</td><td>3名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>11名</td></tr> </table>	国有林	5名	都道府県	名	市町村	2名	森林組合	1名	林業事業体(森林組合を除く)	3名	研究機関	名	その他	名	合計	11名	<p>村有林にコンテナ苗を初めて植栽するにあたり、以下を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテナ苗の特徴 ・植付器具の種類 ・効率的な植付方法 	<ul style="list-style-type: none"> ●コンテナ苗の特徴、育苗方法、価格、メリットについて ●コンテナ苗と裸苗の植付け方法の違いについて ●植栽器具と現地への運搬方法について ●器具毎の植付(実技指導) 	 <p>スパードを用いて植栽体験</p>
国有林	5名																						
都道府県	名																						
市町村	2名																						
森林組合	1名																						
林業事業体(森林組合を除く)	3名																						
研究機関	名																						
その他	名																						
合計	11名																						
<p>国有林におけるコンテナ苗の植栽体験会</p>	<p>10月14日</p>	<p>宗谷森林管理署</p>	<p>豊富森林事務所部内 4119ほ林小班</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>11名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>2名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>名</td></tr> <tr><td>林業事業体(森林組合を除く)</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>13名</td></tr> </table>	国有林	11名	都道府県	2名	市町村	名	森林組合	名	林業事業体(森林組合を除く)	名	研究機関	名	その他	名	合計	13名	<p>国有林における作業の効率化及び低コスト化への取組とコンテナ苗の植栽体験をするため。</p>	<p>国有林における低コストな施業方法である伐採・造林一貫作業、コンテナ苗の普及・定着を図るため、署担当者からコンテナ苗や植付器具等の説明、現地での植栽を体験してもらい、意見交換を行った。</p> <p>意見交換では「コンテナ苗を運ぶ箱を改良すれば、2段積みができ、コンテナ苗の輸送回数を減らすことが出来る」、「重機のアタッチメントをブラッシュカッターに替えて、下刈が可能との」等の意見があった。</p> <p>今後においてもコンテナ苗の調査・データ収集</p>	 <p>意見交換をしている様子</p>
国有林	11名																						
都道府県	2名																						
市町村	名																						
森林組合	名																						
林業事業体(森林組合を除く)	名																						
研究機関	名																						
その他	名																						
合計	13名																						
<p>リモコン草刈機のデモンストレーション</p>	<p>10月20日</p>	<p>根釧西部森林管理署</p>	<p>根釧西部署裏庭</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>12名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>名</td></tr> <tr><td>林業事業体(森林組合を除く)</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>12名</td></tr> </table>	国有林	12名	都道府県	名	市町村	名	森林組合	名	林業事業体(森林組合を除く)	名	研究機関	名	その他	名	合計	12名	<p>造林事業(下刈)の省力化を進めるため遠隔操作が可能で安全に作業が行えるリモコン草刈機を導入できないか検討するため。</p>	<p>当初、釧路振興局、森林室、事業体等含め118林班でデモ予定であったが、雨予報のため中止とし代わりに署員のみで署中庭においてデモを行った。</p> <p>リモコン草刈機で中庭を走らせ草刈を行った。刈払機と違い遠隔操作でブレードも車体の下付いていることから枝条の跳ねやブレードによる怪我の心配も無い。操作についても習熟は必要だが特に専門的な知識もいらないので誰でも取り扱うことができる。</p>	
国有林	12名																						
都道府県	名																						
市町村	名																						
森林組合	名																						
林業事業体(森林組合を除く)	名																						
研究機関	名																						
その他	名																						
合計	12名																						



令和3年度 現地検討会実施状況

(森林整備における低コスト化の推進)

<p>令和3年度ねむろ森林づくり交流会</p>	<p>10月26日</p>	<p>主催：根室振興局森林室 共催：根釧東部森林管理署</p>	<p>弟子屈町民有林 別海町町有林267林班 国有林636わ林小班</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>7名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>7名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>2名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>6名</td></tr> <tr><td>林業事業体(森林組合を除く)</td><td>2名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>1名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>7名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>32名</td></tr> </table>	国有林	7名	都道府県	7名	市町村	2名	森林組合	6名	林業事業体(森林組合を除く)	2名	研究機関	1名	その他	7名	合計	32名	<p>自治体林務担当者や森林組合職員等を対象として、市町村森林整備計画に基づく適切な森林管理や森林・林業に関する知識の向上等人材育成を目的として実施。</p>	<p>【リモコン式草刈り機による下刈り作業とカラマツ苗木への影響について】 機械の活用と下刈り作業の軽労化と省略化を図るため、伐根粉碎方法及び下刈り方法（機械下刈、人力刈払、除草剤）を検証している民有地の試験地において、講師より今後の造林作業イメージ等について説明。 【防風保安林の効果と施業方法について】 民国防風保安林伐採箇所において、防風林機能に考慮した伐採方法及び間伐回数省略に向けた植栽本数等について意見交換。</p>	
国有林	7名																						
都道府県	7名																						
市町村	2名																						
森林組合	6名																						
林業事業体(森林組合を除く)	2名																						
研究機関	1名																						
その他	7名																						
合計	32名																						
<p>森林組合の造材現場・製材現場見学</p>	<p>10月28日</p>	<p>主催：十勝大雪森林組合</p>	<p>●音更町民有林9林班34小班 ●十勝大雪森林組合製材工場</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>6名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>2名</td></tr> <tr><td>林業事業体(森林組合を除く)</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>8名</td></tr> </table>	国有林	6名	都道府県	名	市町村	名	森林組合	2名	林業事業体(森林組合を除く)	名	研究機関	名	その他	名	合計	8名	<p>支署として列状間伐の優位性を見出す取組を、より幅広い知見で取り組むことと合わせ、若年層の森林施業に対する知識の育成を目的として開催</p>	<p>●十勝大雪森林組合の業務兼加工部長より、間伐、森林施業、製材について様々な説明を受けた。 ●見学の成果としては、若年者から「研修等」では聞けない内容であり、森林施業の現実も理解でき「とても新鮮」という意見、また、今回の見学を実施するにあたり、打ち合わせ等で森林組合と繋がりが持てた。</p>	 
国有林	6名																						
都道府県	名																						
市町村	名																						
森林組合	2名																						
林業事業体(森林組合を除く)	名																						
研究機関	名																						
その他	名																						
合計	8名																						
<p>造林作業の省力化を目指した取組における現地検討会</p>	<p>11月10日</p>	<p>十勝東部森林管理署</p>	<p>244林班ほ小班</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>20名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>4名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>1名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>1名</td></tr> <tr><td>林業事業体(森林組合を除く)</td><td>11名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>38名</td></tr> </table>	国有林	20名	都道府県	4名	市町村	1名	森林組合	1名	林業事業体(森林組合を除く)	11名	研究機関	名	その他	1名	合計	38名	<p>下刈作業の機械化のため</p>	<p>下刈の機械化を前提とした地拵・植付仕様を提案し、また、クラッシャーを使用した下刈作業及び伐根処理のデモンストレーションを行い、問題点等について意見交換を行った。</p>	
国有林	20名																						
都道府県	4名																						
市町村	1名																						
森林組合	1名																						
林業事業体(森林組合を除く)	11名																						
研究機関	名																						
その他	1名																						
合計	38名																						

令和3年度 現地検討会実施状況

(森林整備における低コスト化の推進)

列状間伐・定性間伐の比較検討を行う現地検討会	12月上旬	十勝西部森林管理署東大雪支署	十勝西部森林管理署東大雪支署国有林2109林班こ小班	国有林	7名	列状間伐箇所、定性間伐箇所の伐倒～造材までの一連の流れを見学し、出席者から意見を出してもらう中で、列状間伐に対する理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・列状間伐・定性間伐箇所の伐倒～造材までの工程を見学。 ・意見交換 ・まとめ 	
				都道府県	名			
				市町村	4名			
				森林組合	2名			
				林業事業体(森林組合を除く)	名			
				研究機関	名			
				その他	名			
				合計	13名			
列状間伐の推進に向けた現地検討会	12月17日	主催：十勝西部森林管理署東大雪支署 共催：ムラカミ緑化	十勝西部森林管理署東大雪支署国有林 2109林班こ小班	国有林	8名	支署職員、自治体民有林担当者、森林組合の職員が造材作業、また、意見交換を行う中で、列状間伐むに対するメリット・デメリットの理解を深めるために開催する。	伐倒～木寄までの工程を見学。その後、森林組合の業務兼加工部長から問題提起をしてもらい、それらを踏まえて意見交換を実施した。	 
				都道府県	名			
				市町村	4名			
				森林組合	2名			
				林業事業体(森林組合を除く)	名			
				研究機関	名			
				その他	名			
				合計	14名			